

## 21 PMP（ソバポリフェノール）の Triton誘発高脂血症モデルに対する影響

○我妻 千尋、三浦 健人、若命 浩二、  
小砂 憲一（株式会社アミノアップ化学、  
生物化学研究部）

ソバは古くから日本では長寿食として常食され、ソバタンパク質には降コレステロール効果や血圧降下作用があることが知られている。また、ソバにはルチンをはじめとするポリフェノールが豊富に含まれることが知られているが、その生理機能については明らかになっていない。我々はソバ種子に含まれるポリフェノールに着目し、ソバポリフェノールの脂質代謝への影響を明らかにするためにTriton誘発高脂血症モデルラットにソバポリフェノールを経口投与し脂質代謝の指標が改善されるかどうかを調べた。

【方法】雄性Wistarラット5週齢は1週間飼育環境に馴化した。ソバポリフェノールは1.5g/kgになるように1日1回1週間にわたって強制経口投与した後、Triton-WR1535を250mg/kgまたは150mg/kgの濃度で尾静脈注射した。Triton250mg/kgの投与では24時間後に、Triton150mg/kgの投与では8、16および24時間後に採血し血清の脂質を調べ、ポリフェノール未処理群と比較した。また24時間後に解剖し、肝臓を採取し肝臓の過酸化脂質（LPO）およびリポタンパクリパーゼ（LPL）活性を調べた。

【結果】Triton250mg/kg投与から24時間後の血清においてはソバポリフェノール投与群では有意ではないが血清脂質の若干の低下傾向が認められた。Triton150mg/kg投与後6時間の血清においてTG濃度ではソバポリフェノール投与群で未処理群に比べて有意に低い値を示した。T-CHO濃度においては有意な差は認められなかったが、低値傾向を示した。肝臓S-9画分中のLPOはソバポリフェノール投与群で低い値を示した。LPL活性はソバポリフェノール投与群で高い値を示した。

【結論】ソバポリフェノールの経口投与はTriton誘発高脂血症モデルにおいてTriton投与による血中脂質濃度の上昇を抑えた。このことから、ソバポリフェノールが生体の脂質代謝を改善する可能性が示唆された。